

「藍住町農業振興祭」に出展しました

＜四国東部農地防災事務所＞

四国東部農地防災事務所は、10月14日(土)に、藍住町自立経営農業振興会が主催する「藍住町農業振興祭」に徳島県・徳島支局とともに出席し、吉野川下流域農地防災事業のPR活動を行いました。また、当事務所の関谷事務次長が来賓として招待され、開会式で祝辞を述べました。

当日は、吉野川下流域地区の農業や当事務所の事業を紹介するパネル展示、田んぼや水路に住む生き物展示のほか、「おっ！？やさいつりゲーム」と題した野菜の釣り堀ゲームを行いました。当事務所のブースは大盛況となり、釣り堀ゲームの参加者に配付するために100枚用意していた得点記入表が、わずか1時間余りですべてなくなってしまうほどでした。イベントの途中から雨が降り出し、その後は来場者が激減してしまいましたが(泣)、それでも当事務所のブースには1日で約150名の来場者がありました。

今回のイベントで、特に力を入れたのはパネル展示です。これまで、当事務所のブースに足を運んでいただくために、工作体験やカルタ、そして今回の釣り堀ゲームと、様々な企画を考え、実際に多くの方に足を運んでいただくことができましたが、肝心の事業PRのためのパネルをなかなか見てもらえないという問題がありました。そのため、当事務所の係員及び徳島県・徳島支局の職員が話し合いを重ね、その結果、めくると答えが現れるクイズを多く配置したり、徳島県内のゆるキャラをパネルに登場させたりと、親子でパネルを楽しめるよう、内容を一新することにしました。また、ブース内のレイアウトも工夫し、釣り堀ゲームの待機列となる位置にパネルを配置し、釣り堀ゲームに遊びに来た方が必ずパネルの近くを通るようにしました。その甲斐あってか、多くの方にパネルを見ていただくことができ、アンケートでも「パネルがこったもので仕掛けがあって楽しかった」、「子供が楽しめて、大人も勉強になりました」、「楽しみながら勉強できました」といったコメントをいただきました。

当事務所では、国営事業のPRのために、昨年度より、徳島県農林水産部・徳島支局の職員とともに月1回程度の頻度でワークショップを開催し、国営事業のPR方法の検討、出展内容の企画・検討を行ったうえで、イベントへの出展を行っています。今回の出展においても、パネルに使う写真やイラストを提供しあう等、県・支局と役割分担をしながら出展の準備を進めるとともに、当日の出展にもスタッフとしてお越しいただき、当事務所と県・支局の職員が協力し合いながら広報活動を行うことができました。

今後も、県・支局と協力しながら、よりよい事業PR方法の検討を行うとともに、こうしたイベントに参加して事業PRや地域貢献活動に取り組んでいきたいと思っております。



参加した職員の一部



パネル展示
(来場者がパネルをめくっています)



釣り堀ゲームとブースの様子